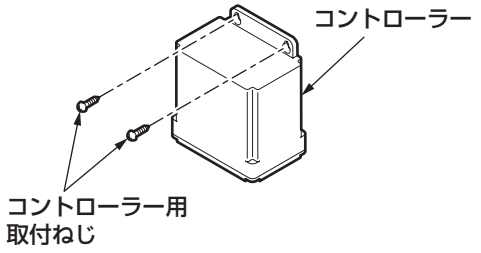
4 コントローラーの取り付け

コントローラーをコントローラー用取付ねじ(2本)で、キャビネット内の横の面または奥の面に取り付ける。

注 意

●コントローラーは、駆動部よりも高い位置になるように取り付けてください。
●コントローラーは、上下逆向きや横向きに取り付けないでください。



5 各コードの接続

①各コードのコネクターをコントローラー下側のコネクターに確実に差し込む。

②(AC100Vタイプの場合)
ACアダプターのプラグをコントローラー下側のACジャック部に確実に差し込み、コードをコードフックに引っ掛ける。

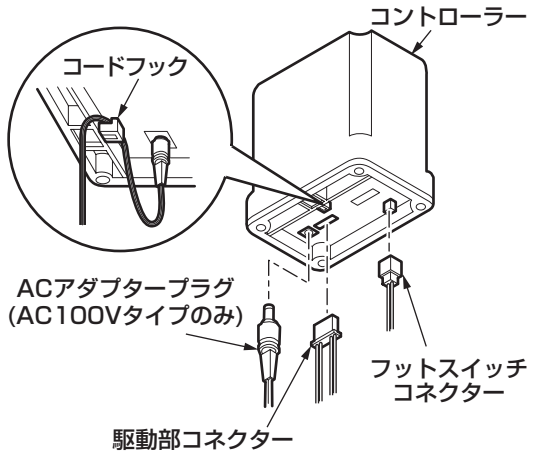
③キャビネットの底面にあるコードを同梱のモールで保護する。
※モールは適当な長さに切ってお使いください。

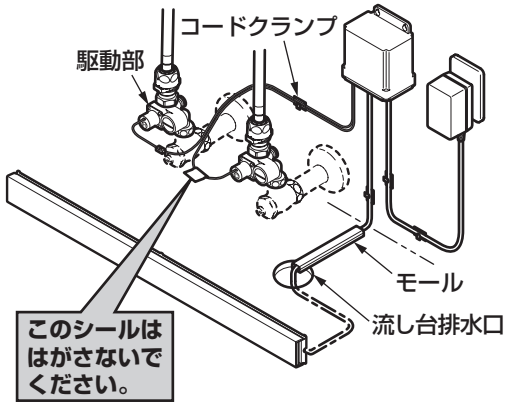
④同梱のコードクランプを使って、各コードをキャビネット内に固定する。

注 意

●全てのコードは安全のため、通水部に接触しないように固定してください。

●コネクターが結露した水でぬれないように、コネクターが駆動部より高い位置になるように駆動部コードを固定してください。





7 試運転および調節

1. 試運転

重要

取り付けが完了したあと、次の方法で試運転を行ってください。

①電源を入れる

＜AC100Vタイプの場合＞
ACアダプターをコンセントに差し込んでください。

＜乾電池タイプの場合＞
コントローラ下部の乾電池ケースに同梱の乾電池(単3×4本)を取り付けてください。
(取付方法は、「取扱説明書」を参照してください)

②水を出す・止める

止水栓を開き、レバーハンドルを上げて吐水状態にしてください。
(吐水状態でも水は出ません)

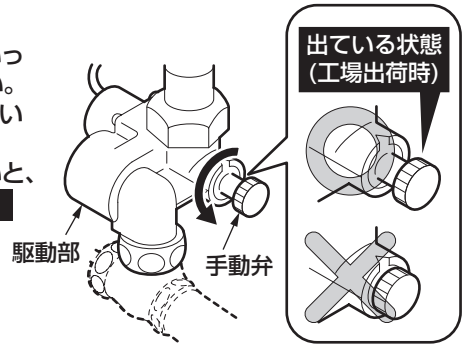
フットスイッチを押すと水が出ます。もう一度押すと止まります。

③吐水状態の確認

レバーハンドルを右いっぱいに回すと水、左いっぱいに回すと湯が出ることを確認してください。
また、駆動部にある手動弁が反時計回りいっぱいに回っていることを確認してください。
手動弁が、反時計回りいっぱいに回っていないと、**フットスイッチで水の出し止めができません。**

注 意

湯側の手動弁は熱くなっていることがありますので十分に注意してください。



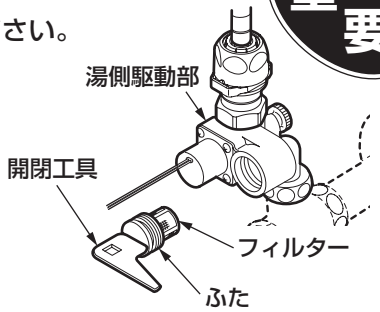
2. フィルターの掃除

重要

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。
また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

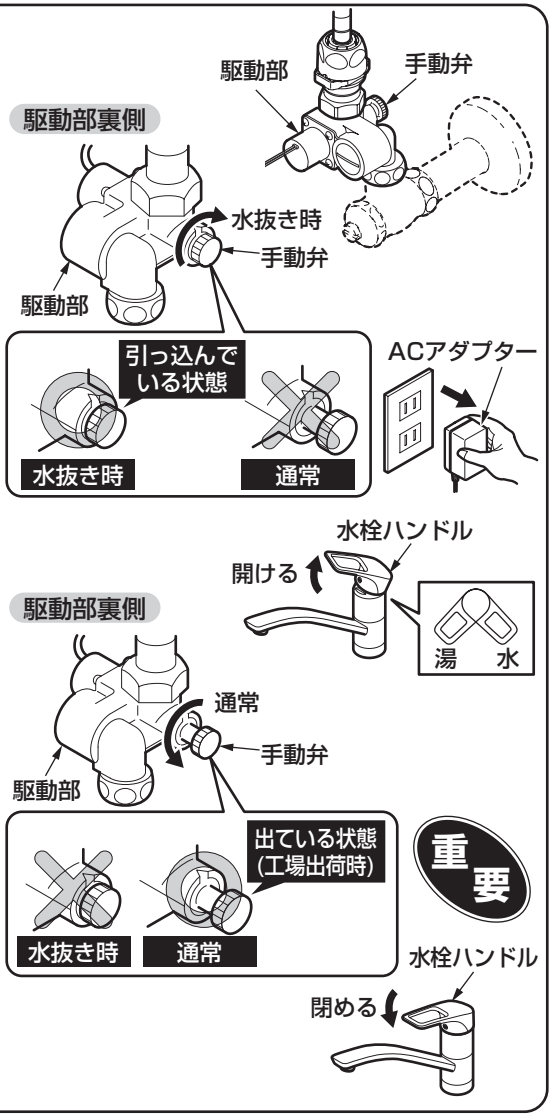
※フィルターを掃除する際は、湯側駆動部が熱くないことを確認し、**止水栓を閉めたあと、ふたを外してください。**



8 寒冷地用の水抜き方法

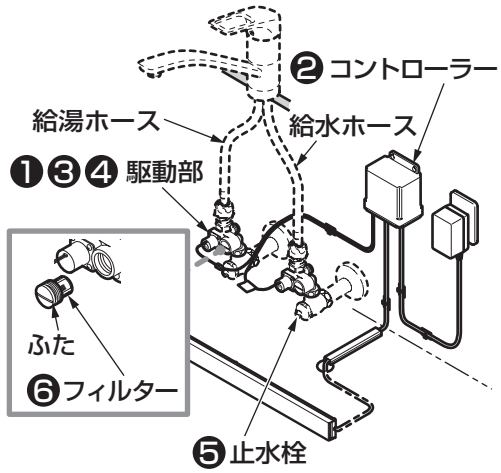
寒冷地用水栓とセットの場合に水抜きが行えます。
凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。
（詳しくは、取扱説明書の「凍結予防の仕方」を参照してください）

1. 配管部の水抜栓などにより通水を止めて、水抜きを行う。
2. 駆動部の手動弁を、時計回りいっぱいに回す。
（湯・水2カ所）
3. フットスイッチを押しても水が出ないことを確認し、ACアダプターをコンセントから抜く。
4. 水栓のハンドルを開け水を出しきって、水が出ないことを確認する。
シングルレバー混合栓の場合は、ハンドルをそれぞれ湯・水の位置で開けてください。
5. 水栓の水抜きを行う。
（水栓の説明書に従ってください）
6. 駆動部の手動弁を、反時計回りいっぱいに回す。
（湯・水2カ所）
手動弁が、反時計回りいっぱいでないと、フットスイッチで水の出し止めができません。
7. 水抜き完了後は、必ず水栓のハンドルを閉め、水が出ない状態にする。



9 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

❶駆動部の水漏れはないですか？

↳ 6-2 ー2「駆動部の取り付け」参照

コネクターの確認

コネクターがしっかり差し込まれているか確認してください。

❷コネクターはしっかり差し込まれていますか？

↳ 6-4 ー5「各コードの接続」参照

流量および吐水温度の確認

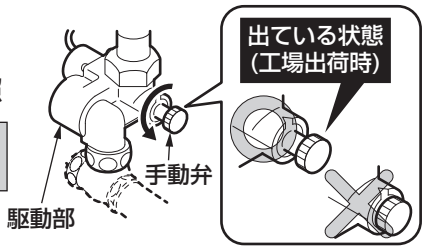
流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

❸駆動部は逆に接続されていませんか？

↳ 6-2 ー2「駆動部の取り付け」参照

❹手動弁は、反時計回りいっぱいに回っていますか？

↳ 7 ー 1. 試運転 参照

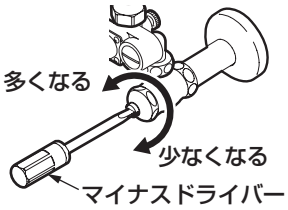


❺止水栓は開いていますか？

↳ 止水栓で流量を調節する。

❻フィルターのごみ詰まりはないですか？

↳ 7 ー 2. フィルターの掃除 参照



※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。